



## 生細胞の cAMP 検出用蛍光バイオセンサー cADDIs cAMP BacMam Assay

cAMP と結合することで蛍光強度が変動するバイオセンサーです。  
従来困難であった、生細胞での **cAMP の動的挙動** を経時測定することができます。

### 特長

- バイオセンサー発現ベクターが組み込まれた非増殖バキュロウイルスを細胞に感染させます。使用するウイルス量に応じて、センサー発現量の調節が可能です。
- 蛍光プレートリーダー、イメージングシステムに対応しています。異なる蛍光センサー製品を組み合わせることで、複数のシグナル伝達経路の多重測定を簡便に行えます。
- 測定波長：
  - Green** 励起 485~505 nm / 蛍光 515~535 nm
  - Red** 励起 550~590 nm / 蛍光 600~700 nm

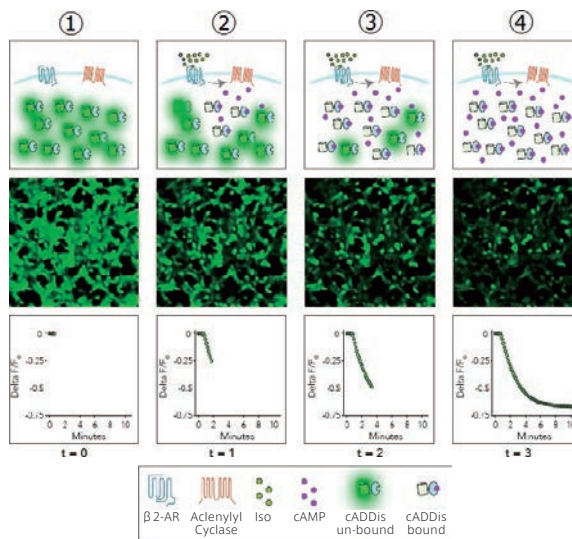
センサーの種類	蛍光シグナル	用途・選択基準
Upward Kit	上昇	蛍光バックグラウンドが低い場合に使用可能
Downward Kit	減衰	蛍光バックグラウンドが高い場合に使用可能

### 使用実績のある細胞種について

Web ページ番号 64420



\* ウイルスベクター関連製品のため、購入時にご使用者確認が必要です。



上図：cADDIs の模式図 (Downward 型センサー #D0200G の場合)。Downward 型 cADDIs cAMP センサーは cAMP に結合していない場合緑色蛍光を発する。Gs 型 GPCR である b2-AR のアゴニスト isoproterenol を添加すると、b2-AR に結合した Gs が活性化され、Adenylyl cyclase に作用し、cAMP が産生される。cAMP の産生に伴い、cADDIs cAMP センサーが cAMP に反応して、蛍光が消光する。  
中図：実際に HEK293 細胞で Downward 型 cADDIs cAMP センサーを発現させたときの細胞の蛍光観察像。  
下図：蛍光像の変化を蛍光プレートリーダーで測定。縦軸 (Delta F/F0) は各時間における蛍光強度 F を t=0 における蛍光強度 F0 で割った値の変化量。

[メーカー：MOM]

標的経路	プロモーター	細胞種	色	蛍光シグナル	測定方法		商品コード	包装	価格 (¥)
					Plate	Imaging			
Gs	CMV	Non-neuronal / whole cell	Green	Upward	●	●	U0200G* カルタヘナ	1 kit	131,000
				Downward	●	●	D0200G* カルタヘナ	1 kit	131,000
			Red	●	●	U0200R* カルタヘナ	1 kit	131,000	
Gi	CMV	Non-neuronal / whole cell	Green	Upward	●	●	X0200G* カルタヘナ	1 kit	131,000



Web 会員登録フォームから  
フナコシニュースの定期送付を  
ご登録いただいた方限定!

お申し込みはこちら

63369



オリジナルノート 1冊プレゼント!

